



# 横浜市 技連協だより

第 15 号  
平成 14 年 1 月 25 日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上 三 寶  
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7  
電 話 045-681-6553 FAX 045-664-9400



## 新年を迎えて



横浜市技能職団体連絡協議会

会長 川上 三寶

謹んで技連協の皆様へ新年のごあいさつを申し上げます。

平成十三年も諸事多難のうちにあわただしく過ぎ去り、ここに希望にあふれた平成十四年の新春を迎えましたことをまずお喜び申し上げます。

さて、我が国の長期にわたる景気低迷のなかで、かつて経験をしたことのない高い失業率に見舞われるなど、依然として厳しい状況が続いております。特に、我々技能職にとつては、中小・零細事業主であるため、今日の不況の影響を直接受けていること、経済のグローバル化に伴い、国内では安価な製品が流通し、技能職者は競争力を失っていること、さらに、後継者不足が深刻化しているなど厳しい環境のもとにおかれているのではないのでしょうか。

しかし、このような厳しい時こそ、私たち技能職者は長年の経験で得た技能と知恵を最大限に発揮し、手づくり・手仕事による「本物の良さ」や「ものづくりの大切さ」を継承し、真剣に後継者育成を図って行かなければなりません。

さらに、技連協の活動としては「技能まつり」・「各種交流会」・「研修会」などを通して、技能職の社会的、経済的地位の向上、発展に向けた日々の努力を積み重ねることにより、将来の展望が開かれるものと確信しています。

また、今年6月「ワールドカップ・サッカー」の開催を成功させて、元気な横浜を世界に発信するために、技連協も積極的に支援をしていきます。

新しい年を迎えるに当たり、皆様の一層のご理解ご協力をお願いし、皆様のご多幸をお祈りして、新年のごあいさついたします。

2002年ワールドカップサッカー横浜開催を成功させよう!



## 生活を楽しまち・

横浜へ

### 横浜市長 高秀秀信

平成十四年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

この一年が、横浜市技能職団体連絡協議会の皆さん一人ひとりにとって、幸せで健やかな年でありませう、心からお祈りいたします。

今年も、市民の皆さんとともに待ちに待ったワールドカップサッカー大会の年です。皆さんと心を一つにし、「安全そして心のこもった大会」にしたいと思えます。

ソフト・ハードの両面で、開催準備も大詰めに入っていますが、その第一段階であったボランティアの募集において、他の開催都市に例を見ない、予想を遥かに上回る応募をいただくと、横浜の元気の発信はすでに始まっています。今後も横浜市民の元気とホスピタリティを大いに発揮しながら、最善を尽くし、六月三十日に横浜国際総合競技場でフィナーレを飾る大会を成功させましょう。

二十一世紀を迎えて一年。わが国はいまだ先行き不透明な状況にあります。横浜市も、引き続き景気悪化の影響を受け、依然として厳しい財政状況にあります。新しい時代の行政を築きながら、市民生活と密接に係る少子・高齢化や高度情報化などの課題への対応を着実に進めていかなければなりません。

また、こうした時こそ、暮らしを支える自治

体として、横浜の将来像を明らかにし、その実現に向けて前進すべきだ、との思いを強くしています。

そして、二十一世紀の横浜がめざす街の姿を、私は、市民の皆さん誰もが「生活を楽しまち」ができるまち」としたいと考えています。

生活を楽しまちのためには、まず、豊かな生活を支える就業の場を十分に確保する必要があります。また、職住が近接し、良好な住環境のもと、家族そろって、スポーツや音楽、ショッピングなどを楽しめるような街づくりを進めることも必要です。そのためには、気軽に出かけられるように、交通手段の利便さも欠かせません。

また、忘れてならないのは、この「生活を楽しまち」が、これまで皆さんとともに進めてきた「市民生活の安全・安心・安定」があつてはじめて成り立つ将来像だということです。

こうしたことを目標に現在、「ゆめはま2010プラン」の新しい五か年計画を策定しています。皆さんの横浜への夢を盛り込んでいきたいと考えておりますので、ご意見、ご提案を、お寄せ下さるようお願いいたします。

市民の皆さん一人ひとりが明るさと元気を発揮され、まちがそれを大きく育んでゆく……「生活を楽しまち・横浜」の実現をめざし、皆さんと手を携えて、その道を切り拓いていきたいと、意を新たにしておりますことを申し上げます。平成十四年新春のごあいさつとさせていただきます。

横浜市技能職団体連絡協議会の皆さんの暖かく力強いご支援を心からお願いいたします。

## 横浜市社会福祉協議会から

### 感謝状を授与される

平成十三年十一月二十八日(水)関内ホールにおいて、第二十一回横浜市社会福祉大会(設立五十周年記念)が開催されました。

この席上において、長年、社会福祉施設・団体等に対し、技術労力奉仕・金品等の寄付をした功績顕著な団体として「よこはま技能まつり実行委員会(会長川上三寶)」が表彰されました。



## 青年部ダンスパーティーのお知らせ

三月十七日(日)、中区・リトルダーリンにて恒例の技連協青年部ダンスパーティーを開催します。

今年も本格ムードの会場のなか、生バンド演奏、そして豪華なフード&ドリンク、ビンゴゲームなど盛りだくさんの内容で皆様のご来場をお待ちしています。チケット一枚六〇〇〇円。十八時スタート。

ご案内は別途お送りいたしますので各団体の皆様のご協力をお願いします。



# 雑感

## 零細企業の社長(親方)の 守るべきこと

会長 長川上 三實

いわゆる親方は、何をしても良いわけですが、全部自分が責任をとらなければならぬ。

大企業のトップや役人さんの上司は責任をとって、退くだけが殆んどだが零細企業の社長は、仕事の上の営業や技術、技能の適切な指導管理、従業員の雇用関係、健康管理、安全管理、安全教育、厚生関係、退職金を含めての家族への気配りなど、すべてに細心の注意をはらい責任をもつことになっている。さらに社会構造の変化や経済状態の動向に、常に先手先手と対応して行かなくては乗り遅れてしまう。

その責任も背負い、かつ事業経営の失敗。それも不渡手形、工事代金不払い等があつて社長の責任ではないのだが、多大の借財のため夜逃げもし、関係のない家族、親族に迷惑をかけ、いやな思いもさせなくてはならない。それだけ零細の社長は大変だ。命がけだと思つて、反面創りだす夢も、また愉しい仕事だ。

私は大工になることを目標に努力し、曲がりなりにも何とか一人前になつたことは、大勢の先輩、友人達に感謝をしている。そして、零細企業の親方は傍若無人であるがために、常に創造性を伸ばすことを頭の中で訓練をし、貪欲に体で覚えなくては前へ進まない。さらに自分自身も大事にしながら、人間の和を大切にしながらは棟梁一人で家は出来ない。大勢の人達の力を尊重して、まとめて行かなくてはならない。

難しい陽と陰、建て前と本音。二重性格みたいな使い分けも必要であり、経営、工事、管理、団体のまとめ等のときは「和」を大切、かつ柔軟に対応し、技術、技能の発想は独自の創造性を前面に出すという、使い分けをしないと両方駄目になつてしまう。

昔から「自分の本音の顔は見えない」と言うように、鏡を見て反対の顔だし、ましてや寝顔死顔は死ぬまで見ないだろう。この様に自分の性格の良いところ、悪いところは分からない。

自分では人様が喜んでくれているだろう、嫌な感

じは持つていないだろうと思つても、相手はまったく反対のを感じたりする。その事がしやくにさわる原因だとか大人になればなる程、他人様は注意してくれないし、言ってくれない。淋しいことだ。注意してくれる身内はありがたい。素直に受け入れなければと感じる。

また、団体のまとめ役等では、「こういうふうにしなれば」という考えは熟慮して考へて、そして全員から意見を聞き、「この様にまとめましょう」とした方がまとまる人が多い。

各団体の長が代表で来ていて、その人の肩には何千人の人の代弁もあるし、一個人としての意見もあるし、慎重に受け入れ対応をしないと問題が起ころる。また、性格の合わない人がいるが良く考へると、大体同じ性格の人は合わない。なぜならば、自分の欠点を見せつけられているようなものだから。だから良いほうに見てあげる努力をし、考へ方へ視点を変える。

この世の中が苦しくて地獄のようだと思へばそうだし、極楽だと思へば極楽に見えるし、人間として生まれてきたので、そのような考へにもなるし、善いことをしたいと思ひその様に出来るものではないが、勿論悪い心も持ち合わせている。

仏様の教えに十界というのがあり佛性・菩薩・縁覚・声門・天上・人間・修羅・畜生・餓鬼・地獄とあり、佛性にも地獄あり、地獄にも佛性ありは常に半分半分だ。そして、如何に半分以上の良い心を常にだすよう努力出来るか出来ないか、来世に良い目標が持てると思ふ自分の心が鏡だと思ふ。

そして、人間は誰でも採点は自分をするのではなく、子供の頃から先生、親、大人、友達がつけてくれます。大人になつても、自分の顔が見えないのと同じで自分が親方になつても、社長になつても社員、若い衆、協力会社の人達、あらゆる関係者が社長の一挙手一投足をみながら採点しています。

安心できる環境づくり、働き甲斐のある会社でなければついて来てくれません。俺が会社を経営しているには違いないが、社長の採点は自分以外の人が採点しているのだと言ふことがつかないと惨めだ。

## よこはま技能まつり チャリティー益金の寄贈

平成十三年十月十四日(日)横浜公園において「第二十二回よこはま技能まつり」が大盛況の中で開催されました。

この技能まつりの際に、毎年、参加団体よりチャリティー益金にご協力をしていただいています。今回は226,891円が集まり、十二月六日(木)市長室において、川上会長から高秀市長を通じて、横浜市社会福祉協議会「あいあい基金」へ寄贈しました。

ご協力していただきました団体の皆様、ありがとうございました。



高秀秀信市長(右)に寄付金を渡すよこはま技能まつり実行委員会メンバー  
＝横浜市役所市長応接室

## ↓ 神奈川新聞記事より

よこはま技能まつり  
実行委員会が  
市に22万寄付  
「よこはま技能まつり」実行委員会(川上三実実行委員会会長)は六日、同まつりのチャリティーで集めた二十二万六千八百九十一円を横浜市に寄付した。

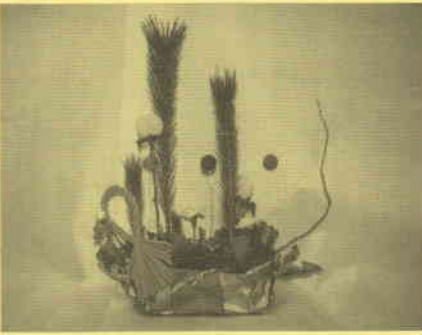
市は「あいあい基金」として市社会福祉協議会に寄託する。

横浜技能まつりは十月に開催され、市内の美容師や表具師など職人の実演、展示販売などを行い、その一部がチャリティーとなった。

## 職人技を市民に披露

職人のすばらしい技能の存在を市民の方々に伝え、技能文化会館が、横浜の技能文化の発信の拠点になることを目的に技能文化会館で、第七回職人から学ぶ講座「花屋さんから学ぶ正月用フラワーアレンジメント」が開催されました。

七回目の今回は、神花協横浜地区生花商協議会（小駒精一会長）の全面的な協力により、正月の家庭を飾るフラワーアレンジメントの作り方を神花協会員で協会講師の小林正仁さんを講師に、二十四人の参加者が職人技を学びました。始めこそぎこちない手つきだった参加者も時間が経つにつれ、小林さんが作られた手本の作品（写真）に近づき、時間内で正月をイメージした立派なアレンジメントが出来あがりました。最後には、小林さん自ら参加者の作品を一つ一つ丁寧に手直しし、講師の技術と感性と出来あがりの素晴らしさに各自満足げな表情で、家路に着かれました。



### \*今年度の予定

2月6日(水)

「和菓子作りを学ぶ」

横浜市菓子協議会(大隅甲子雄会長)協力

3月9日(土)

「プロから学ぶペンキ塗りのコツ」

(社)神奈川県塗装協会(飯野忠明理事長)協力

今後とも技能文化会館では、技連協加盟の団体のご協力を得て、市民の方々に職人の素晴らしき技能をご紹介していきたいと考えております。是非ともご協力をお願いするとともに、楽しい企画等提案がございましたら事務局までご連絡ください。

### 平成十四年技連協賀詞交換会

(事務局連絡分のみ掲載)

1月11日(金) 横浜市管工事協同組合

(ロイヤルホールヨコハマ)

1月12日(土) 横浜豆腐商工業協同組合

(ホテルホリデイ・イン横浜)

1月15日(火) (社)神奈川県塗装協会

(社)横浜塗装工業会

1月15日(火) 横浜市理容連合会

(ロイヤルホールヨコハマ)

1月15日(火) 横浜市美容組合連絡協議会

(ホテルリッチ)

1月15日(火) 横浜市屋外広告美術協同組合

(ホテルリッチ)

1月16日(水) (社)神奈川県電業協会

(横浜ベイシエラトンホテル)

1月18日(金) 神奈川県捺染型協同組合

(エルバイネ)

1月18日(金) 藤沢市技能職団体連絡協議会

(藤沢市民会館)

1月20日(日) 首都圏建設産業ユニオン横浜支部

(横浜市技能文化会館)

1月22日(火) 川崎市技能職団体連絡協議会

(てくのかわさき)

1月24日(火) 名古屋市技能職団体連合会

(名古屋ガーデンパレス)

1月26日(土) 神奈川県木型工業協同組合

(ロイヤルホールヨコハマ)

コーヒーは、火でもっとうまくなる。



直火珈琲【ファイア】  
新登場

Feel the FIRE.

KIRIN Beverage

麒麟ビバレッジ

インターネット通販ページアドレス: <http://www.beverage.co.jp>



© 2002 株式会社麒麟